

はじめる助成団体に対するフォローアップ調査結果(2021 年度)

I 2021 年度の助成金応募状況

地球環境基金助成メニューの一つであるはじめる助成は、「助成期間で得られた知識・経験を用いて、将来はひろげる助成の対象になること」を期待して実施しているものである。

2020 年度にはじめる助成を受けた 9 団体における、2021 年度応募状況は以下のとおりであった。

表1 2020 年度はじめる助成団体における、2021 年度応募状況

2021年度 応募状況	応募 団体数	うち採択 団体数	うち不採択 団体数	不採択団体の不採択理由(抜粋)
ひろげる 助成	0	0	0	
つづける 助成	4	3	1	・柵の効果は検証できたとして、助成終了後も海生植物の植生の再生、維持を実現する道筋、展望が要望書から読み取ることができず、助成の優先度が低くなった。
応募なし	5 (55.6%)			
合計	9	3 (33.3%)	1 (11.1%)	

2021 年度に採択された割合は 33.3%(3 件)と、前回の調査(45.5%)と採択率、前々回の調査(40%)と比べて下降していた。

また、ひろげる助成に応募した団体がなく、つづける助成に応募した団体は 4 団体だったことは、つづける助成の目的や助成対象活動などが団体のニーズに合っていたからと考えられる。

次に、2020 年度にはじめる助成を受けた 9 団体のうち、2021 年度に応募しなかった 5 団体を対象として、助成を要望しなかった理由などをアンケート調査票で取りまとめた。

II 助成を要望しなかった団体について

1) 活動の継続実施の有無

「助成活動は、継続して実施していますか」という質問に対し、5団体中3団体(60.0%)が「自団体で継続している」、1団体(20.0%)が「他団体で継続している」との回答であり、80.0%(4団体/5団体)の活動が継続されている。(表2)

表2 活動の継続実施の有無

区 分	対象団体数 5 件	
	件 数	構成比
a. 自団体で継続している	3	60.0%
b. 他団体で継続している	1	20.0%
c. 継続していない	1	20.0%

「継続していない」と回答した 団体の理由は以下のとおりであった。(表2-2)

表2-2 活動を継続していないと回答した理由

区分	件数
a.活動の目的を達成した。	1 件
b.活動の効果が表れなかったので、実施していない。	0 件
c.団体の活動を休止または団体を解散した。	0 件
d.運営体制に問題があり、実施できなかった。	0 件
e.資金不足のため実施できなかった。	0 件
f.その他	0 件

「継続していない」と回答した団体 1 件は、「活動の目的を達成した」ことによる当該活動の休止であり、その 1 件を集計母数から差し引くと、本来継続されるべき活動の 100% (4 団体/4 団体)が継続している。

2) 助成終了後の現在の財源について

「自団体に継続している」と回答した 3 団体について、助成終了後の現在の主な財源は、以下のとおりであった。(表3)

表3 助成終了後の現在の主な財源について(複数回答可)

回 答 項 目	対象団体数 3 件	
	件 数	構成比
a. 国の補助金・助成金(地球環境基金以外)	0	0.0%
b. 地方自治体の補助金・助成金	0	0.0%
c. 民間財団の助成金	1	33.3%
d. 地球環境基金	0	0.0%
e. 寄付金	1	33.3%
f. 会費	2	66.7%
g. 事業収入	1	33.3%
h. その他	2	66.7%

※「h.その他」の具体的な理由として、「作業に伴う日当や機械借りだし費などを期待しない、いわゆるボランティア」、「今年度は予算がなくてもできる活動をしているため」と回答した。

3) 2021年度の助成を要望しなかった理由について

「自団体に継続している」と回答した 3 団体について、2021年度の地球環境基金の助成を要望しなかった理由は、以下のとおりであった。(表4)

表4 2021年度の助成を要望しなかった理由について(複数回答可)

回 答 項 目	対象団体数 3 件	
	件数	構成比
a. 活動の目的を達成した。	1	33.3%
b. 団体の活動を休止または団体を解散した。	0	0.0%
c. 助成の申請手続き・精算が複雑すぎる。	0	0.0%
d. 助成を受けるための資格要件が乏しい。	1	33.3%
e. 助成制度が要望に合わない。(助成金の用途制限等)	0	0.0%
f. その他	2	66.7%

※「f.その他」の具体的な理由として、「高校のクラブ活動を柱に、研究し保全活動をするという課題は、目的を達成したと言えます。それを受けて、地元関係者たちが継続していくための組織立ち上げに時間を要したため。」、「今後の活動内容や方針を精査しているため」と回答した。